

日 本の森林は、周囲に位置する集落、農地や河川などとともに地域独自の環境、風土を形成してきました。そして、多種多様な森林資源の利用や信仰、芸術などを通して、豊かな森林文化が育まれてきました。森林文化は、それぞれの地域の生活や生業に根ざした知識や技術、思考によって培われてきた森林と人との物質的、精神的なつながりであり、日本独自の文化の基盤です。日本の林業は、こうした地域ごとの森林文化と密接に関わりながらも、海外の思想・技術も積極的に取り入れて発展した歴史があります。

「林業遺産」とは

日本各地の林業の歴史を読み解き、将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、2013年度から日本森林学会による「林業遺産」選定事業が開始されました。林業発展の歴史と独自性を示す対象を遺産認定することで、学術的意義を将来にわたって伝えていくとともに、森林所有者、管理者が林業遺産を積極的に活用することを後押しする役割も期待されます。

林業遺産の分類

林業遺産は、以下の9つに分類されており、林業発展の歴史を示す土地に結びついたものを中心に、体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等資料群が対象となります。



日本森林学会による

日本の林業遺産を知ろう！

第  回 知っていますか「林業遺産」

一般社団法人 日本森林学会 林業遺産選定委員 深町加津枝



猪名川上流域の台場クヌギ林



旧木曾山林学校にかかわる林業教育資料

- (1) 林業景観（用材林、防災林、薪炭林、特用林産物生産林等森林利用に関する景観）
- (2) 林業発祥地（有名・独特な施業体系をもつ林業発祥地）
- (3) 林業記念地（記念植樹、旧係争地等森林利用に関するメルクマールの意味を持つ土地）
- (4) 林業跡地（施業跡地、土場・炭焼き等利用跡地）
- (5) 搬出関連（森林軌道、林道、筏場、木馬道等。現存・跡地を含む）
- (6) 建造物（林業発展の歴史を示す建造物。現存・跡地を含む）
- (7) 技術体系（林産物加工技術、施業計画等）
- (8) 道具類（地域の林業発展を特徴づけるまとまった道具類）
- (9) 資料群（林業関連のまとまった古文書・近代資料、写真、映像等）

林業遺産とこれからの活用

林業遺産候補の推薦は日本森林学会の会員を通じて行われ、一定の基準のもとで、多様な対象が応募、推薦されるよう配慮されています。推薦にあたっては、対象の所有者・管理者の了解を得ていることが条件となっています。

2016年5月までに選定委員会の審議を経て16件が選定されており（表1）、林業遺産を活かした山村振興、学びの場、観光資源としての利活用など、新たな展開も見られるようになりました。

一方、日常での森林や林業との関わりは薄れ、木の文化の国といわれてきたような人と森林との長い関わりを実感することが困難な状況にあります。全国各地に存在する林業遺産に対する社会的な関心がうすれ、経年変化による遺産の劣化、

地域固有の森林文化や生業の消失も危惧されています。森林とのつながりを継承し、新たに創造していく礎として林業遺産を見直し、保存・活用していく術が求められていると言えましょう。情報誌「林野」では、選定された林業遺産についてご紹介しながら、日本の森林文化や林業遺産の特徴や大切さについてお伝えしていきたいと思えます。

表1 「林業遺産」2015年度に2件を追加選定（登録 No.15・16）

No.	登録名	都道府県	分類	年代	所有者・管理者	概要
1	「太山の左知」をはじめとした興野家文書	栃木	9	19世紀	興野喜宣・大田原市黒羽芭蕉の館	近世黒羽の篤林家：興野隆雄の造林技術・業績を示した文書
2	旧木曾山林学校にかかわる林業教育資料ならびに演習林	長野	2,8,9	1901～02年	長野県木曾青峰高等学校・長野県林務部	日本の林業教育の発祥と歴史的展開を示す
3	全国緑化行事発祥の地	茨城	3	1934年	茨城森林管理署	全国植樹祭に繋がる愛林日における植樹行事が初めて挙行された場所
4	木曾森林鉄道（遺産群）	長野	5	大正～昭和初期	長野県木曾郡上松町・大桑村・木曾森林管理署	木曾地方で活躍してきた森林鉄道の代名詞的存在
5	四国森林管理局保存の大正～昭和初期の林業関係写真	高知	9	1921年～昭和初期	四国森林管理局	当時の四国における林業状況を示すまとまった写真集
6	飯能の西川材関係用具	埼玉	8	江戸～昭和期	飯能市郷土館	西川林業の発展を担ってきた道具類
7	いの町の森林軌道跡	高知	5	1923～37年頃	いの町・いの町雇用創造協議会	国有林野事業と共に歩んできたいの町の歴史を示す森林軌道跡
8	東京大学樹芸研究所岩樟園クスノキ林	静岡	1	1910年前後	東京大学樹芸研究所	戦後に至るまでの樟脳生産を目的としたクスノキ人工林の記録を留めるもの
9	大学演習林発祥の地：浅間山（千葉県鴨川市）	千葉	2	1894年	東京大学千葉演習林	本多静六による大学演習林発祥の地
10	猪名川上流域の里山（台場クヌギ林）	大阪	1,2,4	室町時代～（古文書・伝承）	能勢電鉄株式会社	室町時代以降の著名な池田炭・一庫炭の生産地として、その趣を今に残すもの
11	天然林施業実践の森「東京大学北海道演習林」	北海道	2	1899年	北海道演習林事務局	日本における長期間・大規模な天然林施業の発祥・実践の地
12	飢肥林業を代表する弁甲材生産の歴史	宮崎	1,6,8,9	江戸時代	（株）川越本店・宮崎南部森林管理署・宮崎県油津港湾事務所	飢肥林業を代表する弁甲材生産の歴史と特徴を現代に留める景観及び文物
13	吉野林業	奈良	1,3,7,8,9	1500年頃	関係自治体・森林組合・林産協同組合・森林技術センター・振興協議会	吉野林業の歴史と特徴を現代に留める景観及び文物
14	越前オウレンの栽培技術	福井	1,7	平安時代	越前オウレン生産者有志一同	高標高地の林床を利用した薬用植物としてのオウレンの稀少な栽培地と栽培技術
15	若狭地域に継承された研磨炭の製炭技術	福井	7	明治時代	名田庄総合木炭生産組合 木戸口武夫	アブラギリを主要な原料とし、漆器の表面研磨をはじめ、金属工芸品や精密機械、工学レンズ等といった工業用研磨に使用されてきた稀少な木炭生産技術
16	若狭地域の里山における熊川葛の生産技術	福井	7	江戸時代（17世紀～）	熊川葛振興会	江戸時代より京料理・菓子の材料や薬などとして珍重されてきた、林産物としての熊川葛の生産技術

※分類は上記を参照